

【2024年度(対象期間:2023年) 事業所における自己評価】
放課後等デイサービス パートナー・ユウ 玉津教室

		チェック項目	評価	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	概ね“はい”との評価	指定基準に基づき、十分なスペースを確保している。
	2	職員の配置数は適切であるか	概ね“はい”との評価	人員基準を満たし、保育士等の有資格者も含めた適切な人員配置をしている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	過半数が“はい”との評価	段差などは無く、バリアフリーになるように努めているが、トイレスペースに車いすが入るとなると少し狭くなるため、工夫していきたい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	各評価が混在	日々の支援であったり期間ごとに活動内容の確認や振り返りを行い、職員間の連携を深められるよう努めている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	概ね“はい”との評価	保護者向け評価表アンケートを実施し、ホームページで公開している。アンケートに基づいて業務改善に取り組んでいる。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	概ね“はい”との評価	事業所のホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	各評価が混在	現在は第三者による評価は実施していないが、今後機会があれば実施し、業務改善に努めたいと考えている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	概ね“はい”との評価	社内・社外の研修の機会を持っている。今後も研修に参加し、職員の資質向上に努めていく。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	概ね“はい”との評価	半年に1度以上はアセスメントを行い、子どもと保護者のニーズに沿った課題を設定し、取り組んでいる。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	概ね“はい”との評価	職員間共通のツールを使って取り組んでいる。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	概ね“はい”との評価	職員全体で活動プログラムを立案・担当している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	全て“はい”との評価	活動内容が固定化しないよう、プログラム立案時に職員同士で話し合いをしながら取り組んでいる。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	全て“はい”との評価	平日と休日・長期休暇中ではプログラムに当てられる時間が変わるため、それに合わせて活動内容を工夫している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	全て“はい”との評価	子どもの状況に合わせて集団療育・個別療育における課題や支援を設定し、取り組んでいる。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	概ね“はい”との評価	支援開始前にはその日の活動内容や子どもの状況について口頭・書面を通じて確認を行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	“はい”と“どちらともいえない”に分かれる評価	支援終了後には職員間でその日の振り返りを行い、情報共有をしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	概ね“はい”との評価	日々の支援の内容を個別に記録を取り、より良い支援につながるよう活用している。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	各評価が混在	半年に1回は保護者と面談を行い、計画の内容見直し・支援の改善を行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	“はい”と“どちらともいえない”に分かれる評価	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援をしている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	各評価が混在	担当者会議が実施される際には、児童発達管理責任者や個別療育担当者が会議に参加し、情報共有できるようにしている。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	概ね“はい”との評価	下校時間や行事予定などの確認を、保護者を通じてこまめに行なっている。また、トラブル対応等で必要に応じて学校と連絡を取っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	各評価が混在	現在までに医療的ケアが必要な子どもの受け入れはないが、今後そういった子どもを受け入れる際には主治医等との連絡体制を整えて対応にあたる。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	各評価が混在	主に保護者を通じて就学前施設での情報提供をしてもらっており、必要に応じて児童発達支援事業所等からも情報提供をもらっている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	“はい”が多数の評価	主に保護者へ情報提供をしている。必要な場合があれば障害福祉サービス事業に対して情報提供をしていきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	各評価が混在	現在は、児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関との連携や研修などを受けていないが、機会があれば取り入れていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	“どちらともいえない”が多数の評価	現在はそのような交流がないが、今後近隣の施設と連携し、交流の機会を持っていきたい。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	“どちらともいえない”と“いいえ”に分かれる評価	現在は協議会等への参加はないが、必要に応じて機会があれば参加したい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	“はい”が多数の評価	連絡ノート等で日々の様子や健康状態など保護者と情報共有し、送迎時にも子どもの様子についてお伝えをしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	“はい”と“どちらともいえない”に分かれる評価	保護者の悩み等を個別に聞いて助言等の対応はしているが、当事業所独自のペアレントトレーニングは実施できていない。今後保護者と学べる機会を積極的に作っていきたい。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	全て“はい”との評価	契約時に、運営規定や支援の内容などを説明している。改定があった際にもその都度説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	“はい”と“どちらともいえない”に分かれる評価	保護者から相談があった際には、個別に面談などをして対応をしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	“はい”と“どちらともいえない”に分かれる評価	今年度は感染症の状況を見て交流会は開催していないが、オープンデーを設けて交流の機会を持ち、3月には2023年度の交流会を予定している。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	概ね“はい”との評価	苦情があった際には、迅速に対応・改善をし、子どもや保護者に周知をしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	概ね“はい”との評価	活動予定を1か月ごとに配布し、交流会のようなイベント等があった際には会報等を発行している。また、ブログで活動の様子をアップしたり、1年ごとに子どもの写真をお渡ししている。
	35	個人情報に十分注意しているか	全て“はい”との評価	個人情報の保護に努め、必要時には保護者に同意を得たうえで使用させていただいている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	全て“はい”との評価	連絡ノート、送迎時、電話での対応などで情報共有ができるようにしている。視覚的な支援を行うなど、子ども一人ひとりに配慮をして支援を行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	“いいえ”が多数の評価	現在は、地域住民を招待する機会がない。今後機会があれば取り組みたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	全て“はい”との評価	緊急時、事故発生時、個人情報保護、感染症については各マニュアルを作成し、定期的に職員ミーティングで確認の機会を持っている。保護者に対しては契約時に緊急対応についてご説明をしている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	概ね“はい”との評価	年3回、地震・洪水・火災などを想定した避難訓練をおこなっている。今後は防犯訓練も含め必要な訓練を行い、非常時に備えるよう努める。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	全て“はい”との評価	虐待防止マニュアルを徹底し、定期的な研修や職員間で話し合いの機会を設けるなどしている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	概ね“はい”との評価	現在、対象となる児童は在籍していませんが、定期的に虐待防止研修を行い、やむを得ず身体拘束を行う際には保護者の同意を得た上で子どもや周りの安全を考慮して行う事としている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	全て“はい”との評価	食物アレルギーがある子どもに関しては保護者からの情報を職員間で共有し、口にするおやつなどに配慮している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	概ね“はい”との評価	事例があった際には書面にて残し、職員間で情報共有をしている。